

平成28年度の幕開け

はんの木だより

2016年6月
第62号

社会福祉法人美土里会
青森県上北郡七戸町寒水 70-17
電話 0176(62)2761



四月一日、平成二十八年度社会福祉法人美土里会辞令交付式が、デイサービスセンター梓ホールにて行われました。

始めに、四月から美土里会に勤務することとなった新人職員を紹介。相内菜摘さん、大島摩耶さん、蛭沢将大さん、高野楓さんに、それぞれ辞令が直接手渡されました。

また、同日付で異動となった職員や、昇任・正職員採用となった職員にも辞令が手渡され、対象となった職員は一樣に気を引き締めた表情をし、決意を新たにしようとした。

辞令交付の後、毎年恒例となった盛田稔理事長からの訓示がありました。理事長は美土里会の基本理念である『忠

恕(ちゅうじよ)』について説明。「忠恕の『忠』は口と心一つに繋がっていること。つまり、言っていることと気持ちに嘘がない、真心のこと。『恕』は心の如しと読み、相手の心になって思いやること。つまり『忠恕』とは、真心から相手を思いやることです」と説明し、美土里会職員として真心から利用者を思いやる気持ちを持つて欲しいと話しました。

ようこそ！ 新人職員紹介

美土里会では二月以降、六人が新たな職員として採用されました。なぜ美土里会を選んで来てくれたのか？美土里会のことをどう思っているのか？この機会に、色々聞いてみました！

Q1. なぜ美土里会で働こうと思いましたが？

(相内菜摘さん) 他の施設に比べて多くの事業を展開していたからです。

(大島摩耶さん) 高校の時の実習で雰囲気がいいと思えました。

(蛭沢将大さん) 介護の仕事に少し興味があり、やってみたかったからです。

(高野楓さん) 自分に合う仕事だと思ったので働こうと思いました。

(千葉靖子さん) 自宅から近いからです。

(ニマデ・ユリアさん) インドネシアに里帰りするため、貯金をしたかったからです。

Q2. 美土里会の第一印象は？

(相内) 暖かい雰囲気だな、と思いました。

(大島) 利用者の笑顔が良いと思います。

(蛭沢) 自分の知っている他の施設より、きれいだなと感じました。

(高野) 職場の人たちが優しいです。

(千葉) 活気があり、職員に笑顔があつて楽しそうな感じがしました。

(ユリア) 一緒に働いている人達が優しいです。

Q3. 実際に働いてみてどうでしたか？

(相内) 想像以上にきつく辛く感じました。

(大島) 雰囲気がいいと思います。

(蛭沢) 自分で思っていた以上にハードな仕事でした。

(高野) 忙しいです。

(千葉) 仕事量が増えていた以上にありました。利用者とのコミュニケーションがとれて楽しいです。

(ユリア) 初めての介護の仕事で大変ですが、一生懸命頑張りたいと思います。

辞令交付式終了後は、新年度最初の職員全体会議を開催。各事業所より平成二十八年度の事業計画が発表されました。介護報酬改定の影響で各事業所とも厳しい運営が予想されますが、利用者第一の姿勢を忘れず、様々な対策を講じて運営・経営の安定化を図ることが確認されました。

Q4. 趣味は何ですか？

(相内) 音楽鑑賞です。特に遊助の曲が好きですが、最近はお利用者で歌う曲を覚えようと思いい、青い山脈や北国の春を聞いています。

(大島) 音楽を聴くこと、アニメを観る事です。

(蛭沢) ギター・プラモ・農作業・DVD鑑賞など、たくさんあります！

(高野) 動画鑑賞です。

(千葉) 車をカスタムしたり、ドライブをしたりと、車に関すること全般が好きです。

(ユリア) お菓子作りをしています。

Q5. 最後に、これからの意気込みをどうぞ！

(相内) 常に笑顔で利用者と接することを忘れなようにします。

(大島) 料理が上手くなるように、仕事が上手くできるように頑張る！

(蛭沢) 利用者の気持ちを優先し利用して良かったと思ってもらえるように頑張ります！

(高野) 毎日、掃除を頑張ります。

(千葉) 早く仕事を覚えて頑張ります。

(ユリア) 職場に早く慣れて長くお勤めしたいです。

それぞれの第一印象や働いてみての実感が良く解ります！とても初々しい姿が印象的でした。慣れないことも多いと思いますが、一緒に頑張っていきたいと思います！



辞令を受けた(左から)相内、高野、蛭沢、大島



